

平成30年度 岩滝まちづくり協議会総会開催

広報いわたき



5月8日岩滝公民館にて。出席24名、委任状46名。提案通り可決されました。

●発行者●
岩滝まちづくり
協議会
TEL 31-1073
FAX 77-9409
メール
iwataki@hidataya.ne.jp

岩滝まち協の立ち上げから3年間会長をさせていただいた溝下会長が退任され、新しく中家小兵衛会長が承認されました。溝下前会長からこれまでの岩滝まち協の取り組みを振り返っての思いを聞きました。

岩滝まち協の三年間を振り返って

(お礼のご挨拶を兼ねて)

溝下 孝司



新年度が始まり、新たな役員の下で岩滝まち協が動き始めました。

まち協の会長として、まずもって三年間、岩滝の皆さんに支えられて活動できました事に心よりお礼申し上げます。

このたび新たな役員さんと交代する運びになりましたが、ご挨拶の機会を紙面で頂きましたので、活動を振り返りまして私なりの総括を試みたいと思います。

岩滝地区のまち協としまして、いくつかの課題がありますが、抽出して取り上げたいと考えます。

①岩滝地区の限界集落について

ご承知のように人口減・高齢化が他地区より早く進行している実態があります。現在100世帯を割る状況です。世帯の内容も高齢者一人暮らし、高齢夫婦などが多く、若い世帯が少ないのが悩みの種です。

では世帯を増やすには、いったいどうしたらよいのか。難しい課題ですが、空き家、空き地の活用、道路拡張などハード面での整備がありそうです。

それに加えて高山市のブログなどから、全国の皆さんに補助金提供による空き家改修・土地提供さらには土地利用産業を主体とした專業農家をセットとした呼び込み策。あるいは観光客の増加でサービス産業の発展が現実であり、それにもなう人手不足解消の観点からの就業斡旋策。農業などにあこがれる外国人の移住策などがあげられます。

とにもかくにも、人が岩滝に増えない限り共同体としての岩滝地区を守ることは到底困難になり、まちが自然消滅の危機に瀕していくことは否定できません。従って、大胆な提案と改革を押し進めることが急務と考え

ますが、これはまち協のレベルをはるかに超えた高山市・岐阜県としての独自のまち活性化政策、さらには国の特別区の類からアプローチする内容になるものと思われず。その意味では政治家、行政の支援を執拗に求めていかねばなりません。

②若者がUターンする魅力あるまちづくり

重複するところがありますが、やはり雇用の機会を増やすことは前提条件です。さいわい観光業など伸びていますので、それに伴うサービス産業への就業。それと土地を活かした專業農家の起業。ただし、專業の農業は一人では取り組みにくいハンデ

ーがあります。それを克服する方法として、集团的共同農業経営団体の育成、さらには外資を導入しての農業法人経営。たとえば農業における企業のアグリビジネスを進めているカゴメやサントリーなどの資本・技術提携農業法人などの誘致と起業育成。地元の中小企業が異業種である農業のビジネスモデルを展開する場合に岩滝として一助を担うなどがないかです。

また、地方の金融機関の金余り現象などから、地方金融機関を取り込んだ資金提供、共同アグリビジネスの起業誘致などで資金をバックアップしてもらい、併せて金融機関の過剰資金のシレンマ払拭を解決するアイデアもありそうです。

③岩滝地区に基盤をもつ乗鞍青少年交流の家とスキー場との一体化

地域に存在する施設である国立乗鞍青少年の家と高山スキー場は岩滝地区を含めたひとつの複合施設として捉えること。

さらに高山市など行政にも全面的に働きかけてもらい、マク口的には高山市のまちづくりの大きな一環として位置づけて頂きながら、補助金はもとより運営・助言やPRについても知恵を貸してもらい行政との一体化の取り組みを進めていただくような方向に進路を変えていくことが望ましいのではないのでしょうか。

高山市内の文化観光と岩滝の春夏秋冬の自然の美学をサイクル的に紹介し、総合的な観光マップに組み入れてもらい、人の流れを青少年交流の家や高山スキー場まで延長して呼び込むことはいかががでしょうか。

④ホームページの活用について

岩滝のホームページの活用を地区（町内行事）は勿論の事、高山市内外の岩滝出身者の方々、さらには「流れ星のコント」の一コマにも載せていただくなどして、広く閲覧していただき、発信のみの一方通行だけでなく、相手方にも投稿やご意見・ご要望などを頂くなどして双方向としての動くメディアに成長させ、総じて岩滝地区を多角的に捉えながら、魅力あるまちづくりにどなたにも参加・寄与していただければいいのではないかと思います。

ほかに「流れ星」を岩滝の「まちづくりの特命大使」に任命するなどのアイデアもあります。

その他、地域の文化財などの活用など枚挙に暇がありませんが、人が暮らすことは人が知恵を出すことにほかなりません。一見、「なんや・・・」なんて思われることでもアイデア、発想の転換で360度事態が動く可能性はあります。どんなことでもご提案や話の種として提供していただくことは大事なことです。



最後になりましたが、日頃のまちづくりは、やはり一人ひとりの意識の継続と高揚が岩滝地区を支える原点にあることは普遍的なことです。

そのことを踏まえつつ、暗中模索の中、大勢の地区の皆さんにご支援、ご協力さらには激励をいただきましたおかげで、今日までなんとか活動できました。事を重ねてお礼申し上げます。併せて、微力な私と一緒に活動して下さいました役員の方々にもこの場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

四月に入り、まち協の新役員が発足しましたが、どうか岩滝の皆様方には引き続き絶大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

溝下会長をはじめ次の皆様には29年度まで役員を務めていただき誠にありがとうございました。

副会長	大前真美子
文化伝統部長	都竹 一秀
副部長	大下 朋子
安全安心副部長	大宮真理子
地域活性副部長	牧田 量子

まち協新役員紹介

本部役員ほか4部会の部長・副部長の皆さんが総会で承認されました。

会長	中家 小兵衛
副会長	大家 誠一
会 計	陣出 通子
総務環境部長	西垣内和雄
安心安全部長	中家 小兵衛
文化伝統部長	大家 誠一
地域活性化部長	橋本 英雄
副部長	川尻百合子
副部長	新田 重樹
副部長	取替 充子
副部長	坂本 秀昭
副部長	中家 昌子



中家 小兵衛
岩滝地域のみな
さまこんにちは。

日頃は岩滝まちづくり協議会に、ご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。昨年度まで三年間ご活躍されました溝下会長の後を受け、本年度から岩滝まちづくり協議会会長という大役につかさせていただきました。中家です。なにぶんにも初めてのことので、

地域のみなさま方にご迷惑をおかけすることと思いますが、副会長はじめ三役のみなさまや各部の会長・副会長・部員のみなさま全員のご協力を頂きながら、岩滝まちづくり協議会の発展の為に力を注いでいきたと考えております。

本年度も、「岩滝地区民があたりたく支えあい、助け合っている」でも住み続けたいまちづくりを、実践できるよう、子どもから若者、敬老のみなさまに至るまで、岩滝に住むみなさま全員のお役に立つような行事や、研修を計画しておりますので、一人でも多くの参加出席をお願いいたします。

主役は岩滝地域の住民です。私たち岩滝まちづくり協議会の役員全員は黒子に徹して、岩滝地域を盛り上げていきますのでよろしく願います。意は尽くしませんが、会長就任のあいさつとします。



大家 誠一
本年度副会長
を務めさせていただきます。

誰もが気軽に参加していただけるまちづくりを目指したいと思っております。よろしく願います。



陣出 通子

4月から2年間のまちづくり協議会の副会長の委嘱を受けるとなりました。皆様にご指導を頂きながら務めていきたいのでよろしく願います。



西垣内和雄

今年度会計をさせていただきます。わからないことになりました。わからないことばかりですが、少しでも住みよい岩滝になればと、微力ではありますが務めさせていただきますので皆様方の御協力をよろしく願います。



橋本 英雄
今年度安全安心部長の橋本英雄です。

安全安心部会では各町内へのAED、発電機、ドラム、投光器、テントの設置をいたしました。今年度はジェットヒーター1台の購入を予定しています。役員一同地域の方々が無事安心して楽しく生活できる岩滝になるよう頑張りますのでよろしく願います。



川尻百合子

本年度より安全安心部の役員になり、改めて各部の活動の広さを知り、数年こういって場から離れていた自分には戸惑うこともありましたが、岩滝が安全で安心して暮らせる地域であるよう心掛け、活動していきたいと思っております。



新田 重樹

文化伝統部の部長をやりますが、まち協がもっと身近になるような活動をしていきたいです。まず、私自身が楽しめる行事であることが目標です。



取替 充子

この度文化伝統部副部長をさせていただきます。初めてで分からないことが多くご迷惑をおかけしますが、皆様に教えていただきながら楽しく頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願います。





坂本 秀昭

昨年に引き続き地域活性化部長を務めさせていただきます。

今年度も前年度同様地域の皆様の御協力をいただきながら少しでも地域が活発になるような事業をしたいと思っています。一年間よろしくお願ひします。



中家 昌子

役を通して日頃なかなかお会いできない皆さんと接する機会が増えることをとても楽しみにしています。至らない点が多々ありますので、役員の皆さんに教えて頂きながら務めていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

岩滝まち協 今年度の主な事業

総務環境部

- 岩滝地区内防犯灯35灯の電気料金支援
- 大八・空町まち協、東小・東山中との連携
- 岩滝を離れている方へ便り送付

- 広報いわたき発行
- 岩滝ホームページの更新と、情報発信
- 各地区の花壇づくり支援
- 花壇コンクールの開催
- 第3回岩滝フォトコンテスト開催
- 地域座談会（がやがや会議）の開催

安全安心部

- ささゆり号の有効活用について検討
- 災害に備えて独居・要支援の方への支援
- 防災備品整備（ジェットヒーター）
- 子ども会活動支援と育成者研修会実施
- 岩滝小PTA活動支援
- 寺子屋活動支援

文化伝統部

- 岩滝小との連合大運動会開催
- スポーツ大会（グウンドゴルフ大会・ボーリング大会）開催
- 高齢者健康教室への支援
- 教養講座の開催
- 伝統芸能保存活動（祭りの継承）
- 各種研修会の開催

地域活性化部

- 棚田の保存支援（草刈り）
- 希少植物の保存活動支援（草刈りなど）
- 景勝地の保存支援（桶岩しめ縄など）
- 敬老祝賀会の開催（70歳以上の方対象）
- 長寿会の活動支援（グラウンドゴルフ大会）
- 地域のふれあいを深める活動に対して支援

飛騨高山スキー場第2リフト運行の要望に、市から回答がありました。

昨シーズンは大晦日に第2リフトが突然故障し、それ以後全く動きませんでした。そのため、年度末の3月26日にまち協会長と連合町内会長が市役所を訪れて、市長へ次のように要望をいたしました。

「飛騨高山スキー場は岩滝地区にとって自然を満喫できる大事な冬季スポーツ施設であり、隣接する国立乗鞍青少年交流の家運営（研修）においても支障が生じています。これらの施設は相互に密接不可分の関係にあり、併せて岩滝地区に包括されるものであることから、リフト

機器の不具合は「おもてなし」というリフト面を看板に抱えている岩滝住民の雇用にも大きな波及効果をもたらすものとなっております。内外の観光客に楽しんでいただけるハード面の施設設備の充実という視点からも、早急に来シーズンのリフトの稼働にご尽力くださいますようお願い致します。（一部略）

この要望にたいして先日市から次のように回答がありました。「現在リフトメーカーに改修方法や費用等の積算を依頼しているところであり、報告があった後に今後の方針を精査していくこととなりますが、改修に係る予算の確保や特殊な部品が必要となるため10ヶ月以上の工期を要するなどの課題があり、来シーズンの運行再開は困難な状況であると考えております。」

また、市営スキー場のあり方について検討を行っており、人口減少や雪不足に伴う近年のスキー人口の動向の変化、新規投資に対する費用対効果などを踏まえ、今後の方針を検討していきたいと考えています。（一部略）

岩滝地域・スキー場・交流の家へ人々が訪れる機会が増えるよう今後の動向を見守っていきたいと思ひます。